

「市民活動推進センターに、人と人が垣根なく交わる〈えんがわ〉をつくろう」がコンセプトの「えんがわの会」。

第8回目のゲストは、渦中の真ただ中の「あいちコミュニティ財団」に、彗星の如く登場してきた常務理事の栗木梨衣さんです。本人曰く火中の栗と知らずに拾ってしまったとのことですが、これまで多文化共生の分野で培ってきた経験を生かし、財団の再生に挑戦しておられます。そんな栗木さんを応援しようと、お招きさせていただきました。縁側の会では、参加者が、グループで聞きたいことを話し合い、1問1答方式で栗木さんに質問を投げかけて深掘りしていくいつものスタイルで進めました。



参加者の評価と感想

参加18名 感想13名 (感想回収率72%)



●忠平 守さん (名古屋市役所)

これまであまり関わりのない分野で、色々なご苦勞や活動のご様子を知ることができ、良かったです。ありがとうございました。

●中島義則さん

こんなに応援している人がいるということは、良いことだと思いました。ありがとうございます。

●空閑省子さん (こどもNPO/名古屋市子ども・子育て支援センター)

栗木さんのイメージが……もっと肉食系女子のような方?と
思っていたら、天使のような方で……応援します!

●六鹿直樹さん (こどもNPO/名古屋市子ども・子育て支援センター)

あいちコミュニティ財団が再出発のスタートに立ったと感じ
ました。もう1、2年経った時に、またお話を聞きたいと思
いました。

●斉藤順子さん (一般財団法人アスパシ)

今日は久しぶりに栗木さんの顔を拜見できて良かったです。
すべての質問に向き合っている姿に、変わらない栗木さ
んを見て、うれしかったです。本当に本当に大変だと思
いますが、応援している人はたくさんいます!みんなでがんば
りましょう!!

●馬場英朗さん (関西大学)

財団がどうなっているか、気になっていましたが、新たにい
ろいろ動き始めたご様子を伺えて良かったです。

●市原兼久さん (あいちNPO交流プラザ)

栗木さんの誠実さがとてもよく伝わってきました。今後、益々
のご活躍をお祈り申し上げます。

●齋藤雅治さん (犬山市市民活動支援センター)

まだこれからの様子を見て、なにか関わればと思いました

●金子尚弘さん (税理士)

財団が当初の目的を果たせるように進んでいってほしいと思
います。

●内山健太さん (名古屋市役所)

組織の立て直しはとても地味だが困難なことだと感じた。
NPOの資金獲得は常に課題ですね。

●小野地光弘さん (名古屋市役所)

栗木さんのお話は、とても率直な感じで共感いたしました。
一緒にいろいろと地域のことを考えていきたいです。

(順不同、一部割愛させていただきました)

■ 3万人のボランティアをマネジメント！

栗木さんは愛知県国際交流協会（AIA）で主に国際理解教育や多文化共生の事業や研修を担当。AIAから愛・地球博のボランティアセンターに出向し、何と3万人のボランティアの研修をマネジメントし半年に200回の研修を実施したという、すごい経験をお持ちです。

そんな栗木さん、AIAから身を引いて、これからどうしようかなと考えていた昨年8月に、財団の代表理事である愛知淑徳大学の榎田先生から声をかけられ、これまでの経験が活かそうだし、同じような雰囲気かなと思い、財団の混乱もある程度は知っていたけど、半年も経っているし、だいぶ落ち着いているだろうと、火中の栗と言う意識もなく引き受けられたそうです。

しかし、中に入ってみると想像以上に混乱状態。まずこれまで財団がやってきたことの記録が残っていない、誰も教えてくれないまま、いろいろなことを突然ふられる。イベントをやろうにも、シナリオは自分で作ってくださいという具合。寄付していただいた方へのフォローもできない。それでもこれまで関わってきた方からいろいろな話を聞いて、毎月理事会を開いて様々に話し合っ、さあこれからどうする？

■ みんなで育ててもらえる財団に

でも、そこはこれまで多くのボランティアのマネジメントをこなしてきた栗木さん、まず、これまで課題だった組織運営のあり方について、組織の規定を見直し、寄付額の30%を事務費に充てるというルールを明確にしました。また、みんなで育ててもらえる財団を目指し、いろいろなスキルを持つ理事さんを中心に、多様な人がそれぞれの立場で関わることのできるオーナーシップやイン

ターンシッププログラムを取り入れようと計画中とのこと。財団の想いは大切にし、組織運営を透明化して多くの人に関わ

てもらい、地域の中でどういう財団にしていけばいいのか話し合う。そんな財団の方向性が見えてきました。



■ まだ繋がっていない団体がたくさんある

AIAで仕事をしていた時、財団のことはあまり活動者に浸透していなかった。でも東日本大震災をきっかけに多くの団体が寄付と向き合うことになった。寄付者やボランティアに集ってもらい意見を交換する対話サロンなどの場づくり、クラウドファンディングのように、軽い気持ちで寄付できるような仕組みづくり。財団がこれから取り組みたい夢はたくさんある。でも、一人でやることは限界がある。チームで、地域で考えたい。

まだ繋がっていない団体がたくさんある。少しでも多くの団体の事業や組織を支援できるような存在になりたい、と話す栗木さん。派手さはないけれどその誠実な人柄に魅了されました。財団のこれからと栗木さんの活躍を、関心を持って応援しなきゃ。参加者からはいろいろな質問や意見が飛び出しましたが、最後はそんな雰囲気に会場は包まれたのです。



【世話人より】

★ いろいろ厳しい質問や意見も飛びましたが、そのひとつひとつに背伸びせず誠実に答えていかれた栗木さんの姿勢が印象的でした。開催前、何人かの方から「チャレンジングな企画だね」という感想をもらったのですが、感想用紙の内容を見ると、皆さんあたたかい内容だったので、今日、こういう場を設定できて良かったかなと思っています。少しずつこんな場を重ねてコミュニケーションしていくことが、あいちコミュニティ財団の「信頼の再生」につながるんじゃないかなーと思いました。（信頼って、一緒に過ごした時間の中で培われるものだもんね、きっと）今後もささやかな応援をしていきます。（木村仁志）

しみかつネット（世話人；毛受芳高、中谷利顕、木村仁志）

グループ <https://www.facebook.com/groups/shimikatsu.engawa/> メール shimikatsu.engawa@gmail.com

※Facebookをやっていない方は、メール配信もしています。メールをやっていない方へは、チラシの郵送もいたします。